

Cさん：大事な水を守り平成2年から20年まで水道の管理をしています。現在、黒森山がはだか山になってしまいました。大雨が降ったら水源地まで一帯にどだーっと流れていかないと心配しています。聞くところによると漁業協同組合が苗木を植えるということで、大変感動しました。

司会： その件については、町長からお願いします。

町長： 黒森山の24haは大変広いところで、樹齢も結構たった木を皆伐しています。この24haを越知町が買うという計画です。仁淀川漁業協働組合、それと高知県森と緑の会、この二つの会が100%援助をして、苗木を購入し植えます。ただ、越知町としてはこの二つの団体だけではなく、地元の人にもボランティアで入ってもらった方が、非常にいいだろうとこの間お話をしました。植える木はケヤキ、山桜を始め、できるだけ水源の涵養になる木を植えることになっています。植える時期は今現在話を進めていますが、9月の議会で予算を計上したいと思っています。実際に植えるのは、1回目は本年の11月から来年の3月末まで連続で植えます。ただ、大変広くて副町長に聞きますと1回に10ha以上切ることは難しいとのこと。全部切ってから木を植えるのでは時間がかかりますので、切った所は全部植えていく。木材に適さない、曲がり材とかは、そのまま残しておいてもらいますので、一部複合林みたいな形になります。そういう意味で水の心配がないように町も考えていますので、ご協力をお願いしたいと思います。